

令和4年度 延岡市立南浦中学校 学校関係者評価書

本年度の学校経営ビジョン

「一人一人が夢をもち、安心して過ごせる学校づくり」「地域とともにある学校づくり」

(1) 確かな学力の定着【勤勉】(2) 心の教育の充実【礼節】(3) 体を鍛える【鍛錬】(4) 地域とともにある学校づくりの推進

4段階評価

4…よくあてはまる

3…あてはまる

2…あまりあてはまらない

1…まったくあてはまらない

観点	番号	評価項目	評価			現状の分析(○成果●課題)	今後の改善策	総合評価	学校関係者評価委員	
			生徒	保護者	職員				評価	コメント
全般	1	本年度の学校経営ビジョンの達成状況	3.8	3.9	3.6	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒・保護者ともに安心して過ごせる学校と評価している。 学校便りや学校行事等において、保護者に教育方針を伝えることができた。 ● 学校経営ビジョンに対する教職員への指示・伝達をさらに明確化していくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 保護者や地域と連携し、生徒の言動や態度の変化を見逃さず、一人一人が夢をもち、安心して過ごせる学校を維持していきたい。 ☆ 校務分掌、学年、教科におけるそれぞれの目標に沿って、主体的に教育活動を推進していく組織づくりを協力して行う。 	4	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃なかなか生徒たちと接する機会が少なく、毎月の学校便りの行事及び学習内容等が情報源です。
勤勉	2	「わかる・できる」授業の工夫・改善	3.8	3.8	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ リサーチ学習や各教科の授業を通して、根拠をもって説明する力を育成することができた。 ○ 全国学力・学習状況調査や実力テストにおいて、全国・県平均を上回ることができた。 ○ 校内研修において、一人一研究授業及び事後研究会を行い、全体のスキルアップに努めることができた。 ● 家庭学習をふくめ、計画的な学習が苦手な生徒に対する支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ タブレット等を効果的に活用するなどして「わかる・できる」を授業で完結するよう、職員同士で切磋琢磨し授業力向上に努める。 ☆ 家庭学習を充実させるため、毎日の日記に学習時間帯を記入させたり「今日のやることリスト」を教員が確認したりして、計画的な家庭学習を徹底させる。 ☆ メディアとの付き合い方について、参観日の学級懇談等で保護者へ周知し、生徒は講演会や学級活動で学習させる。 	3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 判断に迷う部分もありますが、そうであって欲しいと思い評価しました。
	3	個に応じたきめ細かな指導の推進	3.8	3.5	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立ち止まって会釈する、相手より先にあいさつをする、というあいさつの習慣が身に付いた生徒が増えている。 ○ ほとんどの生徒が朝食を食べ、遅刻欠席も少なく1年を過ごすことができた。 ○ ふるさと祭りのピラ配りや自主的な海岸清掃、くまの香酢収穫ボランティアなど、生徒が自ら考え行動する活動が増えた。 ● 相手を思いやり、自分も学校が楽しいと思っている生徒が多いにも関わらず、自己肯定感を高められない生徒がいた。 	3.6			
	4	「何を学んだか」を自覚できる学習展開	3.5	3.6	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな声でのあいさつは不足している場面があるので、時と場に応じたあいさつを指導していきたい。 ☆ 自分用のスマホも持っている生徒が7名(全校13名中)いる。家族のものを含めれば全員がスマホやタブレットを利用して、学習以外の平均使用時間で人数が多いのは1時間～1時間半が4名、30分～1時間以内が5名である。生活リズムが崩れないよう指導していきたい。 ☆ 講話や体験を通じたキャリア教育を充実させ、自分の強みを活かし、普段の生活・学習で発揮するよう指導助言していく。 	3.6			
	5	家庭学習の充実	2.6	3.5	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立ち止まって会釈する、相手より先にあいさつをする、というあいさつの習慣が身に付いた生徒が増えている。 ○ ほとんどの生徒が朝食を食べ、遅刻欠席も少なく1年を過ごすことができた。 ○ ふるさと祭りのピラ配りや自主的な海岸清掃、くまの香酢収穫ボランティアなど、生徒が自ら考え行動する活動が増えた。 ● 相手を思いやり、自分も学校が楽しいと思っている生徒が多いにも関わらず、自己肯定感を高められない生徒がいた。 	3.3			
礼節	6	時と場に応じたあいさつの励行	3	3.8	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立ち止まって会釈する、相手より先にあいさつをする、というあいさつの習慣が身に付いた生徒が増えている。 ○ ほとんどの生徒が朝食を食べ、遅刻欠席も少なく1年を過ごすことができた。 ○ ふるさと祭りのピラ配りや自主的な海岸清掃、くまの香酢収穫ボランティアなど、生徒が自ら考え行動する活動が増えた。 ● 相手を思いやり、自分も学校が楽しいと思っている生徒が多いにも関わらず、自己肯定感を高められない生徒がいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 大きな声でのあいさつは不足している場面があるので、時と場に応じたあいさつを指導していきたい。 ☆ 自分用のスマホも持っている生徒が7名(全校13名中)いる。家族のものを含めれば全員がスマホやタブレットを利用して、学習以外の平均使用時間で人数が多いのは1時間～1時間半が4名、30分～1時間以内が5名である。生活リズムが崩れないよう指導していきたい。 ☆ 講話や体験を通じたキャリア教育を充実させ、自分の強みを活かし、普段の生活・学習で発揮するよう指導助言していく。 	3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 先日あった評議委員会で生徒のすばらしい活動にとっても感心を致しました。 ○ 生徒は先取りあいさつが出来る、気持ちのいいあいさつが出来ている。
	7	基本的な生活習慣やルールの定着	3	3.7	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立ち止まって会釈する、相手より先にあいさつをする、というあいさつの習慣が身に付いた生徒が増えている。 ○ ほとんどの生徒が朝食を食べ、遅刻欠席も少なく1年を過ごすことができた。 ○ ふるさと祭りのピラ配りや自主的な海岸清掃、くまの香酢収穫ボランティアなど、生徒が自ら考え行動する活動が増えた。 ● 相手を思いやり、自分も学校が楽しいと思っている生徒が多いにも関わらず、自己肯定感を高められない生徒がいた。 	3.4			
	8	子ども同士の良好な関係づくり	3	3.7	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立ち止まって会釈する、相手より先にあいさつをする、というあいさつの習慣が身に付いた生徒が増えている。 ○ ほとんどの生徒が朝食を食べ、遅刻欠席も少なく1年を過ごすことができた。 ○ ふるさと祭りのピラ配りや自主的な海岸清掃、くまの香酢収穫ボランティアなど、生徒が自ら考え行動する活動が増えた。 ● 相手を思いやり、自分も学校が楽しいと思っている生徒が多いにも関わらず、自己肯定感を高められない生徒がいた。 	3.4			
	9	学校行事や生徒会活動への積極的な取組	3.3	3.9	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立ち止まって会釈する、相手より先にあいさつをする、というあいさつの習慣が身に付いた生徒が増えている。 ○ ほとんどの生徒が朝食を食べ、遅刻欠席も少なく1年を過ごすことができた。 ○ ふるさと祭りのピラ配りや自主的な海岸清掃、くまの香酢収穫ボランティアなど、生徒が自ら考え行動する活動が増えた。 ● 相手を思いやり、自分も学校が楽しいと思っている生徒が多いにも関わらず、自己肯定感を高められない生徒がいた。 	3.8			
	10	教師と子どもの良好な関係づくり	3.5	3.1	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立ち止まって会釈する、相手より先にあいさつをする、というあいさつの習慣が身に付いた生徒が増えている。 ○ ほとんどの生徒が朝食を食べ、遅刻欠席も少なく1年を過ごすことができた。 ○ ふるさと祭りのピラ配りや自主的な海岸清掃、くまの香酢収穫ボランティアなど、生徒が自ら考え行動する活動が増えた。 ● 相手を思いやり、自分も学校が楽しいと思っている生徒が多いにも関わらず、自己肯定感を高められない生徒がいた。 	3.6			
鍛錬	11	運動に親しむ子どもの育成	2.8	3.6	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動加入率は77%で、未加入者はダンス、空手、バドミントンを習い、体育の授業は積極的に取り組んでいる。 ○ 学校独自の避難訓練(地震津波・火事対応)及び地域や小学校との合同訓練を行った。 ○ 毎月安全点検を行い、市教委総務課にも相談し、迅速に危険箇所の修繕を行った。 ● 積極的に運動する意識付けの大切さを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 新体力テストで低い結果であった柔軟性・持久力・瞬発性を体育の授業で向上させる。 ☆ 担当者と協力し、危険箇所は見つけ次第処置するよう努める。 ☆ 台風18号接近により9月18日(日)19日(月)に地区住民25名ほどが本校に避難した。避難所の役割を果たせるよう日々整備をしていきたい。 	3	3.6	
	12	「自分のいのちは自分で守る」安全教育的推進	3	3.5	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動加入率は77%で、未加入者はダンス、空手、バドミントンを習い、体育の授業は積極的に取り組んでいる。 ○ 学校独自の避難訓練(地震津波・火事対応)及び地域や小学校との合同訓練を行った。 ○ 毎月安全点検を行い、市教委総務課にも相談し、迅速に危険箇所の修繕を行った。 ● 積極的に運動する意識付けの大切さを感じる。 	3.5			
	13	学校の危機管理体制の整備	3.5	3.4	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動加入率は77%で、未加入者はダンス、空手、バドミントンを習い、体育の授業は積極的に取り組んでいる。 ○ 学校独自の避難訓練(地震津波・火事対応)及び地域や小学校との合同訓練を行った。 ○ 毎月安全点検を行い、市教委総務課にも相談し、迅速に危険箇所の修繕を行った。 ● 積極的に運動する意識付けの大切さを感じる。 	3.8			
地域連携	14	学校と家庭や地域との活動や行事等による連携	3.4	3.8	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参観日、学校行事への出席率が高く、保護者の学校への期待の高さを感じる。 ○ 週1回のペースで学級通信を発行し、生徒の様子を具体的に発信できた。 ● 学校便りは月1回、ホームページも随時更新することができた。HP閲覧数は月9000カウントほどになるが、生徒・保護者への浸透力は低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 授業だけでなく生徒と会話する時間を確保し、職員が丁寧に感じられるようにしたい。また、学級懇談や学校行事で保護者と対話する機会を大切に、日頃から職員と話しやすい体制を整えておく。 ☆ コミュニティ・スクールの啓発とともに、保護者や地域民への情報発信を学校便り、HP以外のツールで模索したい。 	4	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナで大変な中、思うような指導ができないと思いますが、子ども達のために頑張ってください。
	14	生徒や保護者からの相談に対する学校の対応	3.7	3.6	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参観日、学校行事への出席率が高く、保護者の学校への期待の高さを感じる。 ○ 週1回のペースで学級通信を発行し、生徒の様子を具体的に発信できた。 ● 学校便りは月1回、ホームページも随時更新することができた。HP閲覧数は月9000カウントほどになるが、生徒・保護者への浸透力は低い。 	3.6			
	15	家庭や地域への情報発信と開かれた学校づくりの推進	3.3	3.6	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参観日、学校行事への出席率が高く、保護者の学校への期待の高さを感じる。 ○ 週1回のペースで学級通信を発行し、生徒の様子を具体的に発信できた。 ● 学校便りは月1回、ホームページも随時更新することができた。HP閲覧数は月9000カウントほどになるが、生徒・保護者への浸透力は低い。 	3.8			